

「垂井町赤十字奉仕団」のご紹介

代表 池井 仁子



南宮大社の“巳”

ボランティアグループの垂井町赤十字奉仕団は、結成から60年を超え、団員数90名程度で活動しています。赤十字奉仕団というと、被災地での炊き出し活動を思い浮かべる方も多いかと思いますが、幸いにも垂井町では、炊き出しなどを要請されるような災害は起きていませんが、いざという時にしっかり行動できるよう、自治体の防災訓練で防災食を作ったり、団員研修で炊き出し訓練を行っています。その他、いろいろな講師の方をお呼びして、避難訓練での高齢者支援の方法・救命救急・応急手当・自分の命を守るには、などの防災セミナーを開いて、団員の防災意識を高めています。防災についてだけでなく、高齢者施設でのお話し相手や、イベントのお手伝い、また、親睦を兼ねた研修旅行など楽しい活動がたくさんあります。只今団員募集中、年齢、男女問いません。私達といっしょにボランティア活動してみませんか。

炊き出し訓練の様子



目次

- 「垂井町赤十字奉仕団」
- 休館日(予定)
- 行事予定 (9月度)
- 文芸の広場
中山社 北野俳句会
- 今年の夏の暑さについて
- 活動報告

9月 行事予定

9月・10月の休館日(予定)

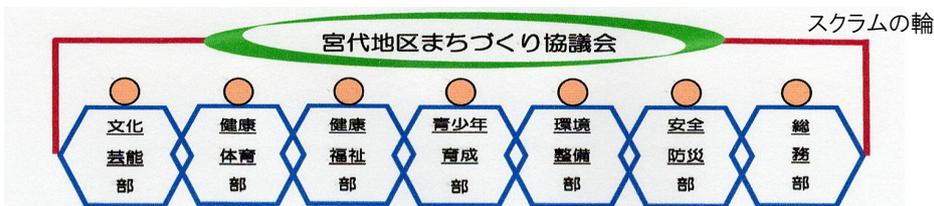
9月 2日(火)・9日(火)
16日(火)・23日(火)
30日(火)

10月 7日(火)・14日(火)
21日(火)・28日(火)

	事業名	日時	曜日	場所
1	シニアはつらつ教室	1日 9:00~12:00	月	まちセン 大会議室
2	水墨画教室	5日・19日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室
3	音(おと)楽(らく)クラブ	8日・22日 18:30~21:00 11日・25日 10:00~12:00	月 木	まちセン 大会議室
4	宮代茶道クラブ	8日・22日 18:00~21:00	月	まちセン 和室
5	池坊生け花クラブ	8日・22日 10:00~12:00	月	まちセン 大会議室
6	千之子ども「陶芸教室」	17日 9:30~11:30	水	まちセン 実習室
7	伝統文化「子どもお花教室」	20日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室



宮代地区まちづくりセンター



宮代伝統の句会、身を地に託し
その心を言葉の華と咲かせて
届けて下さる人がいます……

*花殻を 根元に寄せて ^{むくげ}木槿垣
大羽 志風

*南宮の 青葉につつまれ 風の中
三和 光子

*ひまわりと 青空飾る その笑顔
中嶋 結映

*向日葵も 皆で黙禱 ^{もくとう}休耕田
新貝 里美



今年の夏の暑さについて

ふれあうこころ築こう
明るく住みよいまちへ
宮代地区まちづくり協議

原因として考えられているのは、太平洋高気圧が例年より強く、また、偏西風が例年より北を流れているため、日本付近は、強い日射と暖かい空気に覆われやすく、さらに、地球温暖化などの長期的な気候変動や、日本近海の海面水温が記録的に高くなっていることも影響していると考えられています。異常気象に伴い自然災害のリスクも高まっています。ちなみに、異常気象を気象庁は「30年に一回以下の出現率で発出する現象」と定義しています。日本の夏(6月～8月)の平均気温は、長期的には100年あたり1.31℃の割合で上がっています。これは、世界的な平均気温上昇温度0.77℃より早い速度です。特に都市部ではヒートアイランド現象の影響を受け、より上昇度が大きくなっています。気象庁気象研究所などの(少し古いですが)2019年の研究によると、世界の平均気温の上昇を2℃に抑えられたとしても、日本の猛暑日(最高気温35℃以上の日)の年間発発生回数は、1.8倍になると推定されていますし、グリーンランドや南極の氷の崩壊が始まり、世界中で甚大な被害が出ると予測しています。私達の生活に目を移すと、熱中症にかかる人も増加、作物に悪影響を与える害虫の北の限界を押し上げ、さらに異常に増加、収穫量も大きく減少。結果食料品の高騰につながります。このままだと、子ども達に安全で、安心して生活出来る環境を残せないのではないかと心配になります。

活動報告

8月3日 宮代夏祭り実行委員会を開催。各団体の行事内容などが発表され、課題など検討されました。

8月23日 宮代小学校の二学期に向け、校庭の草刈りなどの清掃がPTAとボランティア合同で実施されました。

8月23日 「伝統文化親子生け花室」がまちづくりセンターにて開催され、31名の児童・生徒と保護者が参加しました。



<編集後記> ★梅干し

猛暑の中にも少しづつ秋が見えてきました。緩む暑さにやれやれとほっとしつつも、何となく寂しいような気持ちが生まれてくる頃。旅立った人をお迎えして、再びお別れをしたお盆の余韻と、秋の風情がしっくりと胸に響きます。秋の気配が強くなってくると知らず知らずのうちに暑さで体力使っていた疲れがどっと出てきます。身体を労う方法はいろいろありますが私が思うに、頼りになるのは梅干しです。同じ梅干しでも、その家や、その土地の季節がつまっているようで、三人三様の味わい方があります。夏バテや季節の変わり目には梅の番茶がおすすめです。気持ちと身体を引き締める梅の飲み物で疲れを労い、秋を迎える準備を始める体力をつけたいと思っている今日この頃です。

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい

宮代まちづくりセンター付近の景色

